

令和元年度事業計画

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

I 事業活動方針

1 はじめに

佐倉市観光協会は、歴史や自然環境などを活かしたイベント等を企画し、広く佐倉市を紹介することを最大の使命と捉えながら、佐倉市の観光振興を目的として昭和32年に任意団体として発足しました。その後、社会の進展とともに公益的な組織体となることが求められ、平成元年には社団法人の観光協会として新たな発足をしました。

平成20年の国の公益法人制度改革に伴い、新制度への移行について検討を重ね、平成24年秋に公益社団法人に移行することを選択して、千葉県知事に移行申請をしました。

このことにより、平成25年4月1日から公益社団法人佐倉市観光協会として、新たな発足をしました。新制度移行より今年度で7年目を迎え、公益社団法人としての観光協会の役割と使命を新たに佐倉市の観光振興と佐倉市を訪れる多くの旅行者のために組織の充実を図ってまいります。

2 基本目標及び方針

佐倉市がもつ豊かな歴史的遺産と文化・自然資産を広く紹介するとともに、これらを活用した各種イベント等を開催し、佐倉市民及び佐倉市を訪問する人々に市の魅力を十分に伝え、楽しさ、面白さ、おもてなし等を提供し、地域文化の向上及び地域経済の発展に貢献し、北総地域の中心的観光都市としての佐倉市の発展に寄与することを目標とします。そして、歴史・自然・文化を有する佐倉市の魅力を市民、県民、観光客等に満喫してもらうとともに、四季折々のイベント等の開催、観光情報の提供、観光資源の創造等を通じて、市民意識の高揚と来訪する旅行者等多くの人々におもてなしによる喜びと楽しみ等を提供することを基本方針とします。

3 佐倉市等との連携

佐倉市の協力のもとに、市民・企業・各種団体等と連携して、より一層の『観光佐倉』を推進し、おもてなしのできる佐倉、人を呼ぶことができる佐倉、ふるさととして誇れる佐倉の創造を目指し、掲げられた公益目的事業を展開し、当協会の役割を確実に果たしていけるように努めてまいります。特に佐倉市が主宰する「佐倉フラワーフェスタ2019」事業が引き続き展開されますので、第31回目の開催となる『佐倉チューリップフェスタ』の充実とこれらに関連する事業等の円滑な運営に努めてまいります。また、佐倉商工会議所、歴史民俗博物館、川村記念美術館等との連携を強化する中で各種イベントの充実と会員増を図ってまいります。

4 収益事業の充実

観光協会独自の自主財源確保として、収益事業の充実を図ってまいります。特に、昨年度より開始した佐蘭花でのソフトクリームの販売は好調で当初見込みを上回っている状況です。引き続き好調な売上げの維持に努めてまいります。また、新鮮野菜やオランダグッズ、オリジナル商品の販売をとおして佐倉ふるさと広場を訪れる人々に各種サービスを提供してまいります。また、本年10月より適用される消費税率の改定に備えて研究してまいります。

新たに駐車場整備も終了した中で、佐倉ふるさと広場及びその周辺への観光客の集中・拡大を期待しながら、レンタサイクル事業の拡大と売店事業の充実を図ってまいります。

II 事業内容

1 観光振興事業（公益事業）

（1）観光イベントの開催

- ① 第26回 佐倉城址のさくら（受託）
期 日 平成31年4月2日（火）～4月7日（日）
場 所 佐倉城址公園 来場推定人数 20,000人
歴博の夜桜 2019年3月27日（水）～4月7日（日）
- ② 第31回 佐倉チューリップフェスタ（共催）
期 日 平成31年3月30日（土）～4月21日（日）
場 所 佐倉ふるさと広場とその周辺 来場推定人数 150,000人
- ③ 風車のひまわりガーデン（受託）
期 日 令和元年7月6日（土）～21日（日）予定
場 所 佐倉ふるさと広場 来場推定人数 50,000人
- ④ 第59回 佐倉市民花火大会（実行委員会）
期 日 令和元年8月3日（土）（予定）
場 所 佐倉ふるさと広場 観覧推定人数 160,000人
- ⑤ 佐倉コスモスフェスタ
期 日 令和元年10月5日（土）～20日（日）予定
場 所 佐倉ふるさと広場 来場推定人数 50,000人
- ⑥ 佐倉の秋まつり（協賛）
期 日 令和元年10月12（土）・13日（日）・14（月・祝）予定
場 所 新町通り周辺 観覧推定人数 200,000人
- ⑦ 第21回 時代まつり（実行委員会）
期 日 令和元年11月16日（土）（予定）
場 所 新町通り周辺 観覧推定人数 50,000人
- ⑧ JR駅からハイキング・佐倉（協力）
期 日 令和2年1月～3月（予定）
場 所 旧佐倉城下町を中心 参加推定人数 2,000人

（2）観光案内所の運営

佐倉市は、来訪する観光客や佐倉市を訪れる人々及び市民のため、JR佐倉駅北口と京成佐倉駅南口近くの2か所に観光案内所を開設しており、この運営を当協会が受託しています。

このため、市内の観光施設・飲食・宿泊等のパンフレット、イベント等の情報誌、お土産品など観光関係資料等を多数用意して、来場者の便益に供しています。更に観光案内業務の充実強化を図るため、担当職員の接遇研修の充実などを図ってまいります。

（3）佐倉ふるさと広場管理運営事業

佐倉ふるさと広場は、平成元年に日蘭修好380周年記念事業の一環として開催したチューリップまつりを契機として、隣接する印旛沼の自然景観を背景に市民の憩いの場及び交流の場として開設されました。平成6年には本格的オランダ風車が整備され、風車については、開設当初から当協会が管理運営をしてきており、多くの来場者に親しまれています。

平成29年度末にリニューアルされた管理棟及び佐蘭花売店において佐倉ふるさと広場を訪れる来場者に引き続き、充実したサービスを提供してまいります。また、佐倉ふるさと広場を中心にフラワーフェスタが開催されています。年間を通して、チューリップ、レンゲ、ヒマワリ、コスモスなどの花々が育成管理されており、これらの花々の球根・種子等の植付け・管理などをはじめ、広場及びその周辺の環境整備などについても当協会が受託しており、引き続きこれらの良好な維持管理に努めてまいります。

(4) 印旛沼周辺地域の舟運事業

佐倉市が購入した小型船舶2艇（さくら及び龍神）をふるさと広場の船着き場を拠点に印旛沼での運航事業を実施するもので、この舟運について当協会が受託しています。

事業内容

- ・ 渡し運航 … ふるさと広場脇棧橋とサンセットヒルズ下棧橋間を原則として、平成31年4月1日から令和元年11月30日まで及び翌年3月の毎週土曜と日曜日に1日3往復（荒天時等を除く）を実施。
- ・ 貸切船の運航 … 貸切にて市内の小中学校の生徒をはじめとした印旛沼を学習及び周遊運航を実施。
- ・ 乗合船の運航 … ふるさと広場でのイベント開催時を中心に運航を実施。

(5) 観光宣伝用印刷物等の刊行・配布

① イベント用ポスターの作成・配布

- ・ 佐倉チューリップフェスタ用ポスターの作成
- ・ 風車のひまわりガーデン用チラシ作成
- ・ コスモスフェスタ用チラシ作成
- ・ その他観光に関するチラシ・ポスター等の作成

② 観光ガイドマップ等の配布

- ・ 「佐倉散歩」の増刷
- ・ 「佐倉チューリップフェスタ」案内冊子の作成
- ・ その他観光に関するマップ・リーフレット等の作成

③ インターネットによる情報発信

観光協会HPの充実を図り、観光情報の発信に努めてまいります。また、SNSを活用した情報発信を行い、新たな集客の掘り起こしを行うほか当協会運営に関わる関係資料等の情報公開に努めてまいります。

2 観光資源開発事業（公益事業）

(1) 観光資源の調査・研究、管理、創出

① 佐倉ふるさと広場周辺の観光施設等の維持管理

印旛沼周辺の桜等については、消毒、剪定、下草刈り等により適正管理に努めます。

② 城下町佐倉の歴史・文化の調査・研究

佐倉市をはじめとする各団体などと連携協力して城下町佐倉の観光資源としての歴史や文化などについて先進地の視察等を含めて調査・研究を進めてまいります。

昨年、ライントラベル社から旅人大賞を受賞したサムライ小径『ひよどり坂』の観光資源を有効利用する中で、新たな観光客の誘致に努めてまいります。また、城郭ブームを背景に佐倉城を訪れる観光客も多く文化財として観光資源の充実を図るため、大手門等、門の再建についての調査研究を進めます。

③ インバウンド事業の創設研究

訪日外国人の観光目的が「見る」から「体験」・「参加」にシフトしている。城下町佐倉ならではの体験プログラムを企画し、今年度は、佐倉市、民間団体、城下町商工会

等と連携を図り、事業の定着化に努めてまいります。

事業を継続的に運営する上で課題となるのは、プログラムのPRと外国人観光客の誘致であり、今後、多様な媒体を利用する中で事業の定着化を図ってまいります。

④ インスタグラムフォトコンテストの開催

観光佐倉写真コンクールに代わり平成30年度から実施したイベントで、スマートフォン等で気軽に投稿できる便利さから応募者が多く、引き続き、令和元年度においても春のチューリップフェスタの時期と秋まつりの時期に合わせ年2回実施するものです。

3 収益事業

(1) レンタサイクル事業の運営

管理台数 85台 (うち折り畳み5台、タンデム5台、既存75台)

貸出場所 観光協会観光案内所、JR佐倉駅前観光情報センター、佐倉ふるさと広場
サンサンサイクル

(2) 佐倉ふるさと広場『佐蘭花』内売店運営

ふるさと広場の来場者やサイクリストへのサービス向上を図るため、佐倉市の特産品やオランダグッズなどの土産品等の販売を行い、観光佐倉のPRに努めます。

また、昨年からは開始したソフトクリーム販売の充実を図るほか、地元農家と連携し、新鮮な野菜を中心に地場産品の充実にも努めてまいります。

(3) インバウンド事業の定着化

前年度企画した「サムライ」をテーマにした体験プログラム「サムライ散歩」をはじめ、今年度は、佐倉市、民間団体、城下町商店会等と連携を図り、収益事業としての定着化に努めてまいります。